

# 令和5年版 上越市の環境

上越市の環境について	I
1 上越市の環境とは	I
2 環境基本計画	I
(1) 対象とする範囲	I
(2) 環境施策の体系	II
(3) 環境配慮指針	II
(4) 環境基本計画の指標・目標値（望ましい環境像の指標・目標値）	III・IV

## 環境保全の施策（施策編）

### 第1章 生活環境 快適な生活空間を確保した循環型社会を目指す

第1節 環境汚染の防止	4	(5) 工場及び事業場騒音	9
1】大気汚染の防止	4	3 悪臭の現状	10
1 大気汚染の現状	4	(1) 悪臭の現状	10
(1) 二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )	4	4 悪臭の対策	10
(2) 浮遊粒子状物質(SPM)	4	(1) 法等による規制の実施	10
(3) 二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )	4	<b>3】水質保全・排水処理対策の推進</b>	11
(4) 光化学オキシダント(O <sub>x</sub> )	4	1 水質汚濁の現状	11
(5) 環境大気監視地点	5	(1) 河川等の水質	11
2 大気汚染の対策	6	(2) 水質汚濁事故	11
(1) ばい煙発生施設等への対策	6	(3) 水銀汚染	11
(2) 粉じん対策	6	2 水質汚濁の対策	12
<b>2】騒音・振動、悪臭の防止</b>	7	(1) 公共下水道の整備・接続促進	12
1 騒音・振動の状況	7	(2) 農業集落排水施設への接続促進	12
(1) 住居地域における騒音	7	(3) 合併処理浄化槽の普及促進	12
(2) 高速自動車道における騒音	7	(4) 工場及び事業場の対策	13
(3) 自動車道における騒音	7	3 し尿処理の状況	13
(4) 自動車道における振動	7	4 し尿処理施設	13
(5) 建設作業の騒音・振動	8	<b>4】地下水の保全、土壌汚染の防止</b>	14
(6) 工場及び事業場騒音	8	1 地盤沈下のしくみ	14
(7) 新幹線における騒音	8	2 地盤沈下の現状	14
2 騒音・振動の対策	8	(1) 地下水位と地層収縮量	14
(1) 高速自動車道における騒音	8	(2) 地下水揚水量	14
(2) 自動車道における騒音	8	(3) 水準測量	15
(3) 自動車道における振動	9	(4) 観測体制	15
(4) 建設作業の騒音	9	3 地盤沈下の対策	16

(1)地下水採取に関する規制	16	2 処理施設の整備	22
(2)地盤沈下防止対策の基本指針	17	(1)ごみ処理施設	22
(3)地盤沈下緊急時対策	18	(2)最終処分場	23
4 土壌汚染の現状と対策	18	<b>2】リサイクルの推進</b>	<b>23</b>
(1)土壌汚染の現状と対策	18	(1)資源物分別収集事業	24
5 地下水汚染の現状と対策	19	(2)生ごみリサイクル事業	24
(1)地下水の水質の現状	19	(3)廃食用油再生化事業	24
(2)地下水汚染対策	19	(4)小型家電製品の回収	25
<b>5】化学物質等による汚染の防止</b>	<b>20</b>	(5)農業用廃棄物の処理	
1 空間線量率	20	(哇シート・ハウスビニール等)	25
(1)上越地域の各消防署における		(6)事業所ごみの適正処理	25
空間線量率	20	<b>3】環境美化の推進</b>	<b>26</b>
<b>6】公害苦情や防止に関する取組</b>	<b>21</b>	1 全市クリーン活動の実施	26
1 公害苦情処理等	21	2 不法投棄の状況	26
(1)公害苦情の発生状況	21	(1)不法投棄物回収業務	26
(2)公害苦情の処理状況	21	(2)生活環境作業員の設置	26
2 公害防止に向けた取組	21	(3)上越市不法投棄防止情報連絡協議会	27
(1)公害防止協定の締結状況	21	3 ごみヘルパー事業	27
(2)公害防止統括者及び		<b>4】景観形成の推進</b>	<b>28</b>
公害防止管理者等の選任状況	21	1 歴史的建造物等の保存・活用	28
<b>第2節 生活環境の維持・向上</b>	<b>22</b>	(1)上越市歴史的建造物等整備支援事業	28
<b>1】ごみの適正処理の推進</b>	<b>22</b>	(2)景観資産と景観に関する行為の届出	28
1 ごみ処理の状況	22		

## 第2章 自然環境 自然と共生した社会を目指す

<b>第1節 自然環境との共生</b>	<b>30</b>	(2)水道水源の保護	35
<b>1】生物多様性の保全等</b>	<b>30</b>	<b>第2節 自然環境の活用</b>	<b>37</b>
(1)自然公園等の指定	30	<b>1】緑地・公園の活用</b>	<b>37</b>
(2)日本の重要湿地500	30	(1)施設等の整備	37
(3)新潟県自然環境保全地域	31	(2)自然観察教室	38
(4)上越市自然環境保全地域	31	(3)啓発等の活動	38
(5)レッドデータブックの活用	32	(4)森林	38
(6)平成の名水	32	(5)市民の森	39
(7)鳥獣保護管理	34	(6)都市公園	40
<b>2】開発事業に対する環境配慮の誘導</b>	<b>35</b>	<b>2】環境保全型農業の推進</b>	<b>41</b>
1 開発行為の対策	35	(1)環境保全型農業の推進	41
(1)環境影響評価の実施	35		

### 第3章 地球環境 低炭素社会を目指す

第1節 地球温暖化対策の推進-----	44	(6) 下水熱利用施設の導入-----	51
1】省エネルギーの推進-----	44	(7) 地中熱融雪設備の導入-----	51
(1) 夏季の軽装運動と		(8) 雪氷冷熱エネルギーの利用-----	52
冬季の省エネルギー運動-----	44	(9) 低公害車の活用-----	52
(2) 省エネルギーシステムの導入-----	44	(10) 新エネルギーシステムの設置支援--	53
(3) グリーン購入等の取組-----	45	(11) 再生可能エネルギーの導入-----	53
(4) 地球温暖化対策実行計画について----	45	3】拠点形成と交通ネットワークの構築--	54
(5) 公共施設における省エネルギーの取組	46	(1) 開発行為の対策-----	54
2】再生可能エネルギーの導入-----	47	(2) 市民の移動を支える公共交通の	
(1) 風力発電施設の設置-----	47	利用促進-----	55
(2) 太陽光発電-----	47	(3) 庁用自転車の導入-----	55
(3) 水道小水力発電の導入-----	48	4】地産地消の推進-----	56
(4) 消化ガス発電施設の導入-----	50	(1) 地産地消普及の取組について-----	56
(5) ごみ焼却発電施設の導入-----	50	(2) 学校給食における地産地消の取組---	56

### 第4章 環境学習 豊かな環境を継承する社会を目指す

第1節 環境啓発の推進-----	58	2】市民、事業者との協働による	
1】環境学習の推進と事業者支援-----	58	取組の推進-----	63
1 学校の環境教育-----	58	1 具体的行動の促進-----	63
2 啓発活動-----	59	(1) 上越市3R オフィスクラブ	
(1) 環境フェアの開催-----	59	認定制度の実施-----	63
(2) 地球環境学校-----	59	(2) 上越市生活環境協議会連合会-----	63
(3) 上越科学館-----	60	2 環境マネジメントシステムと市の取組	63
(4) 上越清里星のふるさと館-----	60	(1) 環境マネジメントシステムとは-----	63
(5) 「環境出前講座」の実施-----	61	(2) 市の取組-----	64
(6) 「環境学習会」の開催-----	61	3 事業者の環境マネジメントシステム	
(7) 環境イベント等への参加-----	62	認証取得-----	65
		(1) エコアクション21-----	65
		4 市内企業等のISO14001認証取得状況-	65

# 環境保全の施策（データ編）

## 第1章 生活環境

第1節 環境汚染の防止 -----	68	・ 農業集落排水施設の整備状況 -----	80
1】大気汚染の防止 -----	68	・ 合併処理浄化槽の設置支援事業実績 ---	80
1 大気汚染の現状 -----	68	・ 特定事業場からの排出水の監視結果 ---	81
・ 二酸化硫黄の監視結果 （環境基準の達成状況） -----	68	・ 特定事業場からの排出水の 排水基準抵触の項目 -----	81
・ 浮遊粒子状物質の監視結果 （環境基準の達成状況） -----	69	3 し尿処理の状況 -----	82
・ 二酸化窒素の監視結果 （環境基準の達成状況） -----	70	・ し尿処理状況 -----	82
・ 光化学オキシダントの監視結果 （環境基準の達成状況） -----	71	・ 年度別し尿処理状況 -----	82
2 大気汚染の対策 -----	71	・ し尿収集の状況 -----	82
・ 粉じん対策に関する届出 -----	71	4】地下水の保全、土壌汚染の防止 -----	83
2】騒音・振動、悪臭の防止 -----	72	1 地盤沈下の現状 -----	83
1 騒音・振動の状況 -----	72	・ 高田城址公園 G4 層観測井観測記録 ---	83
・ 環境騒音測定結果 -----	72	・ 地下水位・地層収縮経年推移 -----	83
・ 高速自動車道騒音測定結果 -----	72	・ 上越地域全体の県条例対象揚水設備の 揚水量 -----	84
・ 自動車道における騒音測定結果 -----	73	・ 水準測量結果 （沈下面積及び最大沈下量） -----	84
・ 環境基準値超過区間 -----	73	2 地盤沈下の対策 -----	85
・ 道路交通振動測定結果 -----	73	・ 揚水設備数 -----	85
・ 特定建設作業届出件数 -----	74	・ 地盤沈下緊急時の 注意報・警報発令月日 -----	85
・ 協定工場基準遵守状況 -----	74	3 地下水汚染の現状と対策 -----	85
・ 新幹線騒音測定結果 -----	74	・ 水質汚濁防止法に基づく常時監視 ---	85
3】水質保全・排水処理対策の推進 -----	75	5】化学物質等による汚染の防止 -----	86
1 水質汚濁の現状 -----	75	1 空間線量率 -----	86
・ 水質の調査結果(河川の BOD75%値、 海域・湖沼の COD75%値)水質汚濁防止法 に基づく常時監視 -----	75	・ 上越地域の各消防署における 空間線量率測定結果の概要 -----	86
・ 独自調査結果 （市及び関川をきれいにする連絡会） ---	76	6】公害苦情や防止に関する取組 -----	86
・ 水質汚濁事故の内訳 -----	77	1 公害苦情処理等 -----	86
・ 関川の魚類の水銀調査結果 -----	78	・ 公害苦情件数年度推移 -----	86
・ 底質調査結果 -----	79	・ 公害苦情受理状況 -----	87
2 水質汚濁の対策 -----	80	2 公害防止に向けた取組 -----	88
・ 公共下水道の整備状況 -----	80	・ 公害防止統括者及び 公害防止管理者等の選任状況 -----	88

第2節 生活環境の維持・向上-----	89	・家電リサイクル法対象品目の 不法投棄物回収実績-----	90
1】ごみの適正処理の推進-----	89	・生活環境作業員の対応件数-----	90
・ごみの排出状況-----	89	・ごみヘルパー事業実績-----	90
・ごみの処理状況-----	89		
2】リサイクルの推進-----	89	4】景観形成の推進-----	91
・廃食用油の回収実績-----	89	1 歴史的建造物の保存・活用と 美しい環境形成-----	91
・農業用廃棄物の回収実績-----	89	・上越市歴史的建造物等整備支援件数---	91
3】環境美化の推進-----	90	・景観計画区域内における行為の 届出件数-----	91
・全市クリーン活動の実施実績-----	90		
・不法投棄物回収実績-----	90		

## 第2章 自然環境

第1節 自然環境との共生-----	92	・みどりのフェスティバルの実施内容--	93
1】生物多様性の保全-----	92	・市内の緑の少年団の設置状況-----	94
・ツキノワグマ目撃件数-----	92	・市内の森林整備面積-----	94
2】開発事業に対する環境配慮の誘導----	92	・水源保護かん養事業実施状況-----	94
・環境影響評価の実施件数-----	92	・くわどり市民の森利用人数-----	95
・上越市水道水源保護条例に基づく 事前協議の件数-----	92	・二貫寺の森利用人数-----	95
第2節 自然環境の活用-----	93	・都市公園の整備状況-----	95
1】緑地・公園の活用-----	93	・パークパートナーシップ実施公園数--	95
・南葉高原キャンプ場利用人数-----	93	2】環境保全型農業の推進-----	95
・上越科学館における自然観察教室----	93	・環境保全型農業直接支払交付金の 交付者数及び取組面積の実績-----	95

## 第3章 地球環境

第1節 地球温暖化対策の推進-----	96	排出量の推移-----	98
1】省エネルギーの推進-----	96	2】再生可能エネルギーの導入-----	99
・リージョンプラザ上越のESCO事業導入 の成果(導入前と各年度の比較)-----	96	・風力発電施設の概要と実績-----	99
・うみてらす名立のESCO事業導入の成果 (導入前と各年度の比較)-----	96	・市内公共施設の太陽光発電実績-----	100
・大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館の ESCO事業導入の成果 (導入前と各年度の比較)-----	96	・太陽光発電の補助実績-----	100
・市全域の温室効果ガス排出量の推移----	97	・水道小水力発電の発電実績-----	101
・市役所の事務事業の温室効果ガス		・消化ガス発電の発電実績-----	101
		・ごみ焼却発電の実績-----	101
		・雪氷冷熱エネルギーを利用する施設--	102
		・低公害車の保有台数-----	102
		・ペレットストーブ補助実績-----	103

<b>3】拠点形成と交通ネットワークの構築</b>	<b>4】地産地消の推進</b>
-----103	-----103
・大規模開発行為に係る開発協定の締結件数	・地産地消推進の店の認定数
-----103	-----103
・庁用自転車の使用状況	・地産地消推進の店プレミアム認定店の認定数
-----103	-----103
	・学校給食における地場産野菜の使用割合
	-----103

## 第4章 環境学習

<b>第1節 環境啓発の推進</b>	<b>2】市民、事業者との協働による</b>
----- 104	<b>取組の推進</b>
<b>1】環境学習の推進と事業者支援</b>	----- 106
----- 104	1 環境マネジメントシステムと市の取組
1 啓発活動	----- 106
----- 104	・目標管理(環境関連事業)
・環境フェアの実施状況	----- 108
----- 104	・法令遵守(監視測定件数)
・地球環境学校利用人数	----- 108
----- 104	2 事業者の環境マネジメントシステム
・環境出前講座実施状況	----- 109
----- 104	・支援説明会参加事業者及び
・環境学習会の実施状況	認証取得数(市内事業者分のみ)
----- 105	----- 109
・環境イベント等への参加状況	3 市内企業等の ISO14001 認証取得状況
----- 105	----- 109
	・市内企業等の ISO14001 認証取得数
	----- 109